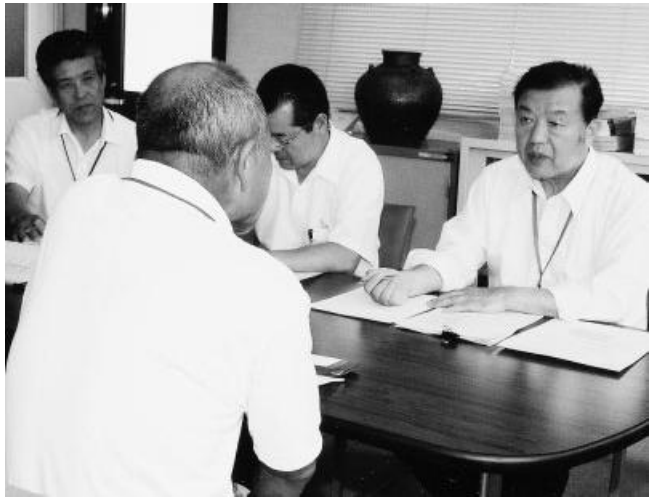


皆さんの意見伺います

移動市長室スタート



長船支所で話を聴く立岡市長（右）

7月12日に牛窓支所で、19日に長船支所で、27日に裳掛出張所で移動市長室を開きました。市長が各支所や出張所へ出向いて住民の皆さんの声を聴こうというもので、住民の皆さんからは福祉に関する質問や意見などが寄せられました。今後、開く予定で、開催日は本誌などで事前にお知らせします。

100歳祝い市長らが訪問

内田敏野さん・三宅千久世さん

7月15日に内田敏野さん（邑久町百田）、7月20日に三宅千久世さん（長船町土師）が、100歳を迎えました。内田さんは病院に入院中でしたが、東原和郎助役らの訪問を喜びました。内田さんの長寿の秘訣は好き嫌いなく何でも食べること、魚や果物が好物です。

7月21日、100歳を迎えた三宅さんを祝い、柏葉備前県民局健康福祉課長や立岡脩二市長が自宅を訪問。三宅さんは市長らの訪問を大変喜び、いろいろな話をして楽しい時間を過ごしました。これからもお元気で過ごしてください。



市長からお祝い状を受け取る三宅さん

夜空彩る2,000発

牛窓花火大会



色鮮やかな夜空の祭典に、歓声を上げ見入る皆さん

8月6日、牛窓花火大会（牛窓町イベント実行委員会主催）が開催され、2,000発の花火が夜空を彩りました。浴衣姿の男女や家族ら約16,000人が見物に訪れ、色とりどりの花火が打ち上げられるたびに歓声を上げ、空を仰いでいました。300万円を目標に募金・寄附金を募ったボランティアスタッフの「花火あげ隊」が大会成功に一役買いました。

1泊体験入署

瀬戸内市少年消防クラブ



真剣に前を見つめロープを渡る宮本君

瀬戸内市消防署で7月23・24日の2日間、瀬戸内市少年消防クラブ員が1泊体験入署しました。市内5少年消防クラブの25人が参加。入署後、規律訓練や救急法などを学習。翌日は早朝から起震車体験。その後ロープ渡過訓練、放水訓練、消火訓練などを体験。ロープ渡過訓練で上手にロープを渡った宮本竜成君（11歳・長船町福里）は、「うれしい。ほかの練習もしてみたい」と意欲的でした。

広島市に「原爆ドームと平和観音菩薩像」の絵寄贈

女流水墨画家の栗井文山さん



寄贈した「原爆ドームと平和観音菩薩像」の絵

女流水墨画家の栗井文山（本名文子）さん（75歳・邑久町大富）が、被爆60年のこのたび、広島市に「原爆ドームと平和観音菩薩像」の絵画を寄贈しました。この絵は栗井さんが10年前、原爆の犠牲になった人々への鎮魂の思いを込め一気にかき上げたもので、中国・日本現代水墨画交流展で大賞を受賞した大作です。現在、この絵は広島平和記念資料館に展示されています。

人形劇ステージ寄贈

竹田喜之助顕彰会

邑久郷土資料館で7月24日、人形劇ステージ贈呈式とお披露目会が開催されました。喜之助フェスティバルに参加するため、熱心に頑張っているアマチュア劇団7団にエールを送ろうと、竹田喜之助顕彰会（内田明生会長・会員80人）が立派なステージを寄贈。お披露目会では、地元のアマチュア劇団・ピエロ（蟻正博美代表）が「かさじぞう」を演じました。市に人形劇ステージが設置されたのは初めて。「これからは、思う存分練習ができます」とピエロの蟻正さん（56歳・邑久町大富）は喜びを話してくれました。



寄贈されたステージで、地元アマチュア人形劇団「ピエロ」がお披露目講演を行いました